



©川西市 2008

# かわ防ニュース

## かわにし防災士会

発行者：江見 輝男

編集者：中村 位三郎

事務局：川西市 総務部 危機管理室

〒666-8501 川西市中央町12番1号

電話 072-740-1145

## かわにし防災士会副会長 鈴鹿成正

2011年3月11日マグニチュード9.0という、日本周辺における観測史上最大級の地震が起きてから丁度一年目の3月に、現会長の江見さんと川西市の危機管理室が中心になり、「かわにし防災士会」設立の準備を始めました。当初10名で発足した会員も現在26名になり、これからも毎年防災士仲間が増えていくものと期待しています。

この8月の大雨で、福知山市では、市内の中心部がほとんど水に浸かるという被害がありました。また、広島市では今日、8月29日現在で74名に上る死者、行方不明者を数える大規模な土砂災害があり、現在も救出活動が続けられています。私自身も、一庫ダムから流れ出る一庫大路次川の川沿いに住居があるため、今回の水害や土砂災害は他人ごとでは

ありませんでした。非常時に我々ができることは、普段から心掛け準備をしていることだけだと思います。何をさておき、自分と家族の命をどうして守るかを、平日頃から意識に上らせていなければならないと再認識しました。



かわにし防災士会では、非常時の避難所運営の机上訓練(HUG)を、出前講座としてボランティア活動をしています。興味のある方は、川西市危機管理室、もしくは、川西市社会福祉協議会にお問い合わせください。これからも縁のあった皆様と一緒に防災、減災について考え続けていきたいと思っています。

## 活動報告

- 4月24日(木) 第3回かわにし防災士会総会
- 6月1日(日) 広報紙・創刊号発行
- 7月16日(水) 第11回HUG出前講座  
(社会福祉協議会ボランティアグループ)
- 7月18日(金) 第12回HUG出前講座  
(雲雀が丘学園高等部ボランティアクラブ)
- 8月24日(日) 第13回HUG出前講座(花屋敷自治会)
- 9月18日(木) 第14回HUG出前講座(小規模多機能連絡会)
- 9月20日(土) 防災訓練支援(大和地区防災会)
- 10月11日(土) 防災訓練支援(多田小学校区自主防災会)



熱心に討議する花屋敷自治会の皆さん

## 防災士会定例会での研修内容報告

- 4月24日(木) 「気象に関する防災研修」他
- 5月22日(木) 「三角巾法などの実技研修」他
- 6月26日(木) 「避難所運営ゲーム HUG(中級編)の実技研修」他
- 7月24日(木) 「AED を使った実技研修」他
- 8月28日(木) 「家具固定などの防災研修」他
- 9月25日(木) 「風水害と川西市の水防体制などの防災研修」他



防災訓練中の大和地区防災会の皆さん

## 今後の活動

- 10月26日(日) 防災訓練支援(明峰小学校区自主防災会)
- 10月26日(日) 第15回HUG出前講座(川西市消防団)
- 10月31日(金) 「明峰高校」学び支援(11/7. 11/14. 11/21. 11/28の合計5回)
- 11月2日(日) 音灯り支援(防災ブースの設置)
- 11月19日(水) 第16回HUG出前講座(社会福祉協議会ボランティアグループ)

## HUGプロジェクト活動報告

プロジェクトリーダー 駒井 澄子

### 高校生が初めての避難所運営ゲーム(HUG)を体験

2014年7月18日(金)、川西市社会福祉協議会のボランティアグループとして登録する「かわにし防災士会」へ、雲雀が丘学園高等部・ボランティアクラブからHUG出前講座の依頼を受けました。

日頃、地域への出前講座が多い中、初めての高校生対象、実施場所は教室です。役員会で協議の末、防災への関心が高く、被災地でのボランティア経験がある彼らの胸を、逆に借りるつもりでお受けしました。出前講座で実践するのは初めての静岡県危機管理室オリジナルのカード全249枚を使用し、ゲーム進行にも手を加えず、オリジナルに忠実にHUGの実践を試みました。

ゲームは9人が2グループに分かれて実施。まずは、DVDでゲームの仕方を学習。次に、避難所での

うでしたが、限られた時間内でのゲーム進行を促すとアクセル全開で取り組んでくれました。その結果「要援護者、トリアージ、間仕切り、ポータブルト



イレ」といった言葉が分かりづらかったようですが最後にしっかりまとめてくれました。【避難所生活も知らないなので、避難所を作るのにこのゲームが活かされたらと思う】、【面白く解り易かった。アプリを使ったらもっと若い人が関心をもつと思う】、【誰かを配慮すると誰かが困る。どちらの利益をとるのか困った。ゆるくルールがあれば良いと思う】そして私達の心に大きく響いたのは、【絶対、災害は私達が生きているうちにやってくる。被災者になる可能性は大きい。知識をもっていれば役に立つと思う】という意見でした。

今回、高校生の皆さんの真摯な態度や今後への発展性を知ることができ、私達も有意義な時間をもつことができました。



「受付設置」や「通路の確保」をしながら、避難者をどこにどのように配置するか作戦を練ります。そして、被災の日時、当日の天候やライフラインの状況、道路や家屋の損壊状況といった一定の設定のもと、ゲーム開始となります。病気や障がいを抱えた人、家族のようにして飼っているペットと一緒にやってくる人、親にはぐれて近所の人に連れて来られた子ども達等々、着の身着のまま大きな不安を抱えて次々とやって来る人たちを、適切に避難所に配置していかなければなりません。

高校生の皆さんは、最初大きな戸惑いを感じたよ



第8回川西まつりイベント  
**かわにし音灯り**  
**2014**  
11.2 (Sun) 13:00 ~ 21:00  
川西市総合体育館東側駐車場  
阪急宝塚線「川西能勢口駅」下車 北へ徒歩15分  
または能勢電鉄「網延橋駅」下車 西へ徒歩約6分  
入場料無料・小雨決行



Live Bazaar  
Food Shot Bar  
Work Shop  
.....Candle!





## かわにし防災士会会員紹介

### 防災士 愛須 里美

私は女性消防団に所属しています。今までも火災予防訓練や防災訓練などの活動をしていましたが今回、防災士という資格を取り更に災害に対する事前の備えの重要性を実感しました。

さまざまな立場の方の話を聞き、自分の防災に対

する知識の未熟さを痛感すると共に、いざという時に対応出来るようにさらに勉強を重ねていきたいと思っています。

これからも自分や家族の為だけでなく、地域の防災活動にも積極的に活動していきたいと思っています。

### 防災士 荻野 操

「自分の為、家族の為、地域の為に、もっと何か出来る事があるかもしれない・・・」との思いから防災士になって12月で2年になります。

川西市女性消防団にも所属しており、防災・火災訓練の他、火災予防の啓発活動や、応急手当普及員として普通救命講習会のお手伝い等を行っています。

本年度は「グレートエスケープ」という、火災時にどのように逃げるかを身体で覚えるというプログラムを初披露する事が出来ました。

今後も防災士として消防団員として、女性ならではの目線で様々な事に取り組んでいきたいと思っています。

防災士の私も被災者になるかもしれません。災害時に慌てることなく「自分の命は自ら守る」行動が取れる為に、まずは自分の住んでいる地域を知らなければと感じています。

地域力をつけ自分の出来る範囲から減災に努め、防災力を高めていきたいと思っています。

### 防災士 永田 二美

川西市女性消防団員として活動していますが、防災についてはまだまだ自分の知らない知識や技術がたくさんあります。

いつどこでどのような災害に合うかわからない昨今、備えあれば憂いなしという言葉通り防災や減災の意識を持ち、備えていく必要性を強く感じています。

自分のため、家族のため、地域のために少しでも役に立ちたいという思いで防災士としての活動を始めました。

まだまだ初心者マークのついているような状態ですが、いざという時は、地域・社会の防災士として主体的に行動ができるようコツコツと頑張っていきたいと思っています。

### 防災士・多田防災会副会長 上田 志津香



平成12年から17年まで、多田小学校区防災会の会長でしたが、他地域には女性会長も無く、私自身専門性もありませんでした。ただ、コミュニティ会長と兼任したことからはまりました。

やみくもに、あちらこちらに勉強に走りましたが、平成16年、防災士講座開講の話があり、飛びついたものの、三木防災センターに毎週・半年通うことは、経済的にも(全額自弁)、時間的にも相当大変なことでした。しかも、受講生は川西からは、私一人だけでした。冬場は雪が積もり、凍てつく猪名川町から

三田を抜けて三木までの車道で、何度も怖い思いをしたことも、懐かしい思い出です。

講座は、有名な先生方が、ほとんどパソコンを使い、難しい内容をぎゅうぎゅう詰め込まれた感じで、なかなか私の中には全てが入りきりませんでした。

しかし、その中で、中町のお医者さん等、人間的な感じの方を我が防災会の講師に呼び、防災訓練にも応用することが出来ました。

江見会長を中心にかわにし防災士会が設立され、私がかわにし防災士会の第1号として活動しております。このことが色々と多田防災会の運営にプラスに作用しております。

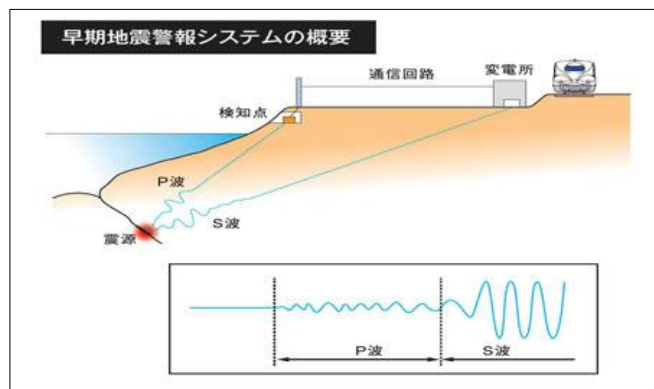
### 南海トラフ地震までの対策 (その2)

前回では、「東北地方太平洋沖地震後の日本は、直下型となる断層地震が何時・何処で発生してもおかしくないのが現状で、南海トラフ地震が発生して安定期を迎える。」と述べた。大陸プレートの端部に位置し下部に潜り込むプレートの圧力を受ける限り活動期と安定期を繰り返す。

昨年の9月に国立科学博物館など日米の研究チームは、日本から東へ約1500km離れた太平洋の海中で巨大な太陽系最大級の火山を見つけた。裾野の面積が英国とアイルランドを合わせた広さ約31万平方kmに相当し地球上最大と発表した。海底約6kmにある高さ3500mの「タム山塊」と呼ばれる領域であり、海底に約1億4500万年前の噴火で噴出した溶岩で1つの火山と確認した。

海洋プレートが大陸の下部に潜り込む時に、そのプレートの上に載った堆積物が強力な岩石の押し合いの中で一体になって潜り込めず、はぎ取られて大陸の縁に加わって残ってゆくのを付加体と呼び、中央構造線南部や日本各地に見られ国土を形成している。タム山塊が海溝に来れば、国土はいか程に増すのかと気になるが、約1500万年後となれば、後々の方々に委ねざるを得ない。

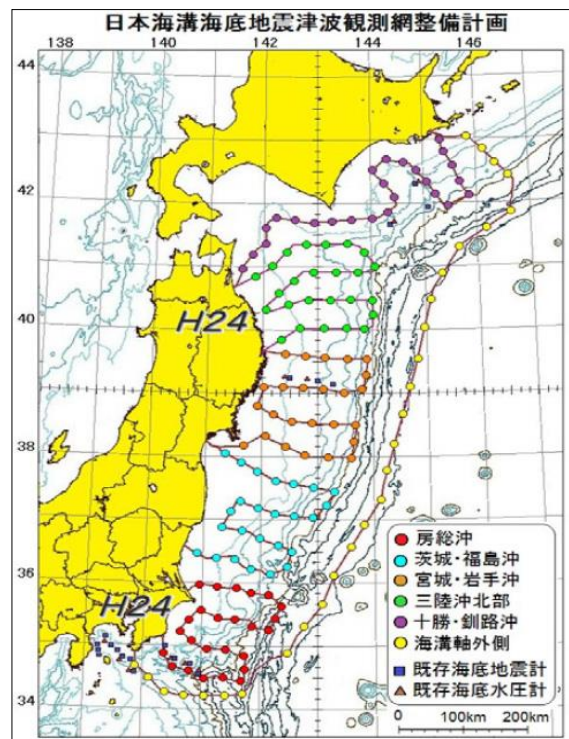
日本の国土は常に地震が発生する地殻構造上に



位置しているのを織り込んで社会システムを構築するのが必須である。

270 km/H で走る新幹線は、地震計を発生予想地域に多数設置し、発生検知後直ぐさま電源遮断をして、地震波が到達する前に急減速して脱線事故を防止する。車両は電源遮断で急ブレーキを掛ける機構装着済である。今後、システム改良を重ね現在より30秒程度早く減速を掛けられる計画に取りかかる。

また、高層建築や公共性の高い建築物は制震装置設置や耐震構造を取り入れ常時安全安心な社会活動や生活環境の確保に努めている。方や、個人の一番



身近な生活空間はどうだろうか。住宅や室内の安全対策は各個人の判断に委ねられている。地震活動期に入ったいま、住宅の耐震性や家具固定をもう一度チェックしてみましょう。

(記 輔信 捷三)

**編集後記:** 10月は「神無月」とも言い、出雲大社に全国の神様が集まって一年の事を話し合うため、出雲以外には神がいなくなると言われていますが、その説においても、留守神という性格を持つ神も存在し、すべての神様が出雲に出向くわけではないらしい。その出雲大社で10月5日高円宮典子さまと権宮司の千家国麿さんの結婚式が行われました。また、7日には青色LEDの開発・量産でノーベル物理学賞を赤崎・天野・中村の三氏が受賞。翌8日には3年ぶりの皆既月食が、赤銅色の満月を夜空に照らしました。

しかし、9月27日何の前触れもない、突然の御嶽山の噴火による被害には心を痛めます。災害の恐ろしさを再認識するとともに、自然の驚異に対して人は無力です。日頃からの周到な準備、早目の非難が必要です。最後になりましたが、創刊号で「本広報紙の名称」を募集いたしました結果、4名(4点)の応募がありました。役員会におきまして、その中から「かわ防ニュース」に決定いたしましたのでご報告いたします。

(記 上田 志津香、中村 位三郎)